

足はつづくよどこまでも  
The Journey of My Feet Goes On



トコトコ 2024年 1830×5520mm ベニヤ板、ジェッソ、アクリル、油彩、色鉛筆、クレヨン、他

KUNST ARZTでは、初となる清水萌花の個展を開催します。  
清水萌花は、雑踏の足元をモチーフにタブローにするアーティストです。  
自由に大胆にデフォルメしたり、コラージュしたり、文様を施すなどしてタブローを構成します。  
そのような自由な画面構成ゆえ、一見、足元を描いていることが分かりにくい作品もありますが、靴の形やズボンの形をヒントに構図が見えてきます。また、そのファッションを通して、着用している人たちや街の雰囲気も見えてきます。  
ポップでポジティブなコンセプト作品が、下向きの目線で制作されていることもユーモアの一つです  
(KUNST ARZT 岡本光博)

2003年 京都府生まれ  
2024年 嵯峨美術短期大学美術学科美術分野洋画・現代アート領域 卒業  
現在 嵯峨美術大学芸術学部造形学科油画・版画領域 在学

展覧会  
2024年 「トゥールビヨン22」part2 0ギャラリー eyes  
2024年 「SAGADASH」同時代ギャラリー

2025年2月4日(火)から9日(日)  
12:00から18:00

会場: KUNST ARZT  
605-0033 京都市東山区夷町155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

### アーティスト・ステートメント

「経験は行動から、行動は足から」をテーマにそれぞれの足を様々な画材、色、模様、コラージュで表現し、見る人が明るく楽しく、心踊るような気持ちになって貰えたらという思いで制作しています。

私が「足」に注目したきっかけは、太秦天神川駅でエスカレーターに乗っていた時。前にいたスーツを着たお姉さんがボロボロになったヒールを履いていたのを見て、私の兄が仕事で靴をボロボロになるまで頑張っていたのを思い出し、このお姉さんも仕事で一生懸命歩き回ったのかなと思いました。頑張った「跡」が「足」に表れるのだと思いました。

「足」は進み、立ち止まり、振り返り。時には飛んだり、踊ったり、スキップしたり。その「足」からその人のことを読み取ったり、想像して楽しんでもらえたらと思います。



コツコツ  
2024年 920×1830mm  
木製パネル、ジェッツ、アクリル、油彩、色鉛筆、クレヨン、水性ペン、他  
背景の黄色のは猫が伸びをした時の後ろ足をシルエットにしたものです。この足達は猫の視点になっており、背景の地面と壁の画面の移り変わりにより猫が足の間を通り抜けていくような感覚に陥ります。



ガヤガヤ  
2024年 700×2000mm  
木製パネル、ジェッツ、アクリル、油彩、色鉛筆、クレヨン、水性ペン、他  
この作品は京都の寺町通周辺を歩いている時に、実際にすれ違った人達をかきました。違った場所、違ったタイミング、違う角度で見た足達をひとつの画面におさめたら面白いのではないかと思います。制作しました。